

第99回 藤野地区まちづくり会議全体会 結果報告書

日時 令和6年9月19日(木) 午後7時から午後8時まで
会場 藤野総合事務所4階会議室
出席者 宮野代表、森下副代表、今井副代表、由森委員、尾形委員、守屋委員、久保委員、山崎(み)委員、渡辺委員、武田委員、清水委員、杉本委員、小山(宮)委員、難波委員
事務局：野崎所長、藤原総括副主幹、斎藤副主幹、大塚主査

[会議内容]

1 開 会

2 あいさつ(宮野代表)

3 議 題

(1) 10年後のまちづくりを考える

3班に分かれ、今の藤野、これからの藤野について、意見交換を行った。

・今後の人口統計資料を見ると、15才から64歳の人口が減っていってしまう。人口を増やすには、働く場所、働き手が増える施策が必要である。藤野地区を働く場所が多く、働く場所に通いやすい便利な町を目指す。まず、企業誘致や、環境に優しいITを中心としたサイエンスパークを湖の周りに作る。また、県や市から助成を受け、農業や林業など人が雇えるぐらいの会社に育成していく。

・むかしやっていたお茶やユズなど、高齢化に伴って、手をつけられなくなり、管理できなくなっている。残された方も、木を切るなど管理することも難しい状態であり、今、この問題を解決しないかぎり、この先10年も引きずってしまうのではないか。

・ごく少ない人口の集落が増えていくので、今後、町をコンパクト化していく。町の中心に集めるのではなく、地域ごとに集まってもらい、コンパクト化していくことで、ライフラインや行政など集中化して、対応力を上げていく。

これらの意見は、藤野未来部会の藤野地区まちづくりを考える懇談会のテーマの参考とする。

今後は、自治会などの団体からの意見収集や、地域情報紙などで意見を集めていくなど、意見収集のやり方について両部会長と検討する予定。

(2) 令和6年度第2回藤野未来部会の結果報告について

第2回藤野未来部会の結果について、資料「藤野未来部会会議結果報告書」をもとに渡辺委員から報告があった。

・包括支援センターが「高齢者等のみなさんを総合的に支える機関」が伝わる内容で、部会長がチラシを作成し、地域包括ケア推進課に確認することになった。また、外国人、子どもへの伝達方法についての課題もあり、今年度のテーマを『地域間の交流を進め、子どももシニアも暮らしやすい藤野地区』とした。

次回の部会では、藤野地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて検討を行う予定。

(3) 令和6年度第2回環境部会の結果報告について

第2回環境部会の結果について、資料「環境部会会議結果報告書」をもとに事務局から報告があった。

・6月30日(日)に行った沢井川環境整備作業報告や、9月29日(日)に行う

2回目の沢井川環境整備について説明があった。

藤野地区まちづくりを考える懇談会のテーマについては『持続的な河川整備』と決め、次回の部会では、懇談する内容を決まる予定。

(4) 藤野地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて

事務局より現状について報告。

環境部会のテーマ『持続的な河川整備』次回の部会で詳細を決める。

藤野未来部会のテーマは、本日議題にあった「10年後のまちづくりを考える」であった意見を踏まえ、次回の部会でテーマを決める。

まちづくりを考える懇談会の時間を考えると、環境部会と藤野未来部会から共通の課題で一つのテーマにするか、今年度についても各部会からテーマを出すか検討する。

日程は、令和7年2月6日(木)、2月13日(木)で調整中。

4 その他

(1) 渡辺委員より報告

「藤野いきいきだより」の配架及び説明があった。

また、藤野地域ケア会議地域づくり部会主催の研修会「いのちとくらしを守る～地域防災と地域福祉の融合について～」について紹介があった。

(2) 次回会議

藤野未来部会：令和6年10月23日(水)

環境部会：令和6年10月21日(月)

全体会：令和6年11月21日(木)

7 閉 会(森下副代表)

以 上